

生産中止品

LEG-122L 形 漏電リレー



作成日

2003/06/20

資料 HP523

本資料記載内容は、全て販売当時のものです。



(注) 写真は LEG-120L

電気設備の近代化にともなって低圧の漏電保護も強化され、漏電リレーの採用範囲も広くなり、コントロール盤のように小さなスペースでの使用が増加しています。LEG-122L 形はこのような要求にこたえて容積や底面積ともできるだけ小さく設計して多回路で狭い場所での使用に向くように製作しました。

容積も底面積も極めて小形です。

JIS C 8374 漏電継電器規格、中感度形、時延形、衝撃波不動作形です。

復帰方式は自動形、手動形とも自由にできます。

高調波対策形になりました。

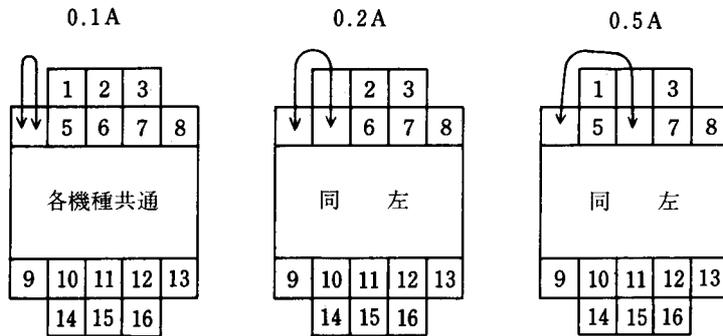
定格および性能

形 式	LEG-122L
定 格 感 度 電 流	0.1-0.2-0.5A
感 度 電 流 許 容 誤 差	51%~100%
定 格 不 動 作 電 流	0.05-0.1-0.25A
定 格 動 作 時 間	0.2 秒(信号 100%印加)許容誤差 0.1~0.3 秒
定 格 慣 性 不 動 作 時 間	0.1 秒(信号 10A 印加)
制 御 電 源 電 圧	AC415V
周 波 数	50Hz/60Hz
不 動 作 時 間 消 費 電 力	2.5W
動 作 時 間 消 費 電 力	3W
使 用 温 度 範 囲	- 20 ~ 65 (規格は 40)
表 示	なし
復 帰 方 式	自動手動切替
出 力 接 点	1a
重 地 絡 耐 量	連続 600A, 最大 5000A, 0.3 秒
絶 縁 抵 抗	DC500V メガにて 1;100M , 2; 3;20M 以上
耐 電 圧	1;AC2000V, 2; 3;JIS C 8374, 各 1 分間
質 量	0.35kg

- 1, 制御回路充電部と外箱間
- 2, 制御回路充電部相互間
- 3, 同一制御回路の開極接点間

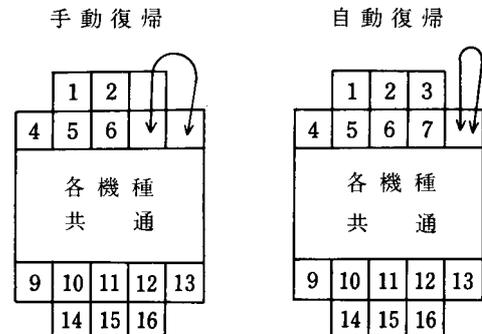
感度切替について

感度切替は端子記号 4、5、6 の短絡で行います。
写真は感度電流 0.1A の場合で、LEG-120L 形を例にして示しています。



復帰切替について

自動復帰と手動復帰の切替は端子記号 7 と 8 で行ないます。
7 と 8 を短絡すれば手動復帰、開放すれば自動復帰となります。
LEG-122L 形を手動復帰で使用される場合は、制御電源回路に常閉の押ボタンスイッチを復帰スイッチとして設けてください。

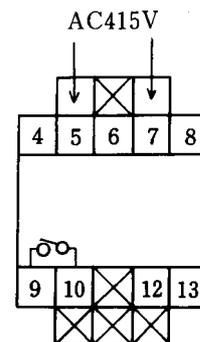


制御電源

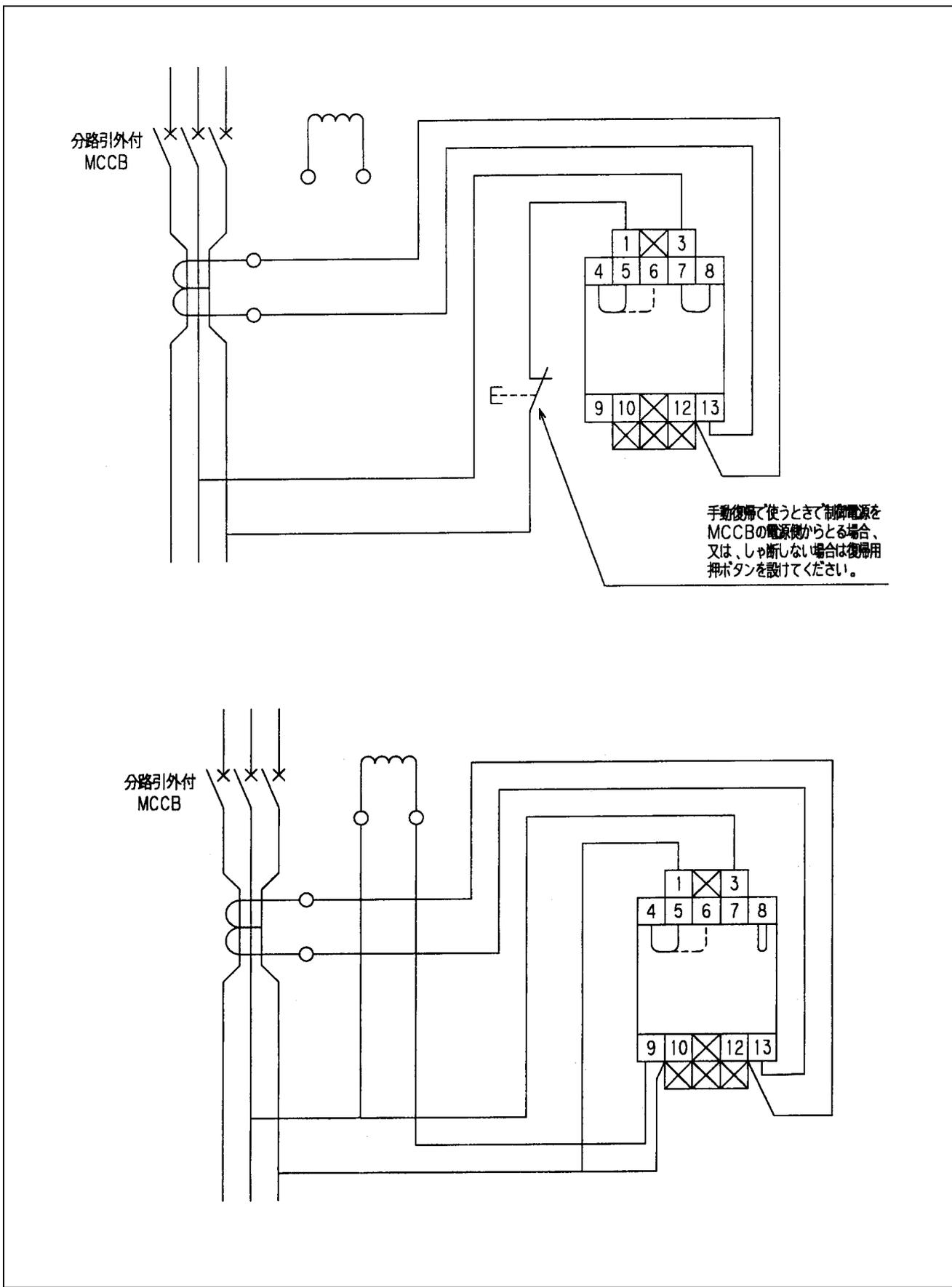
LEG-122L 形は、AC415V 用です。端子 1 と 3 を御使用ください。
使用電圧範囲は AC332 ~ 456V です。

引出接点

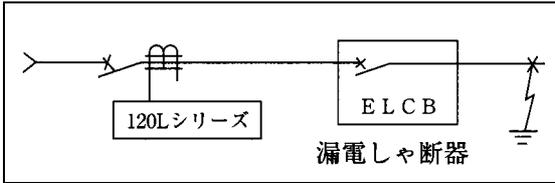
LEG-122L 形は端子 9-10 に 1 組の a 接点があります。
接点容量 AC415V 0.25A 抵抗負荷



外部接続図 例



漏電しゃ断器との協調

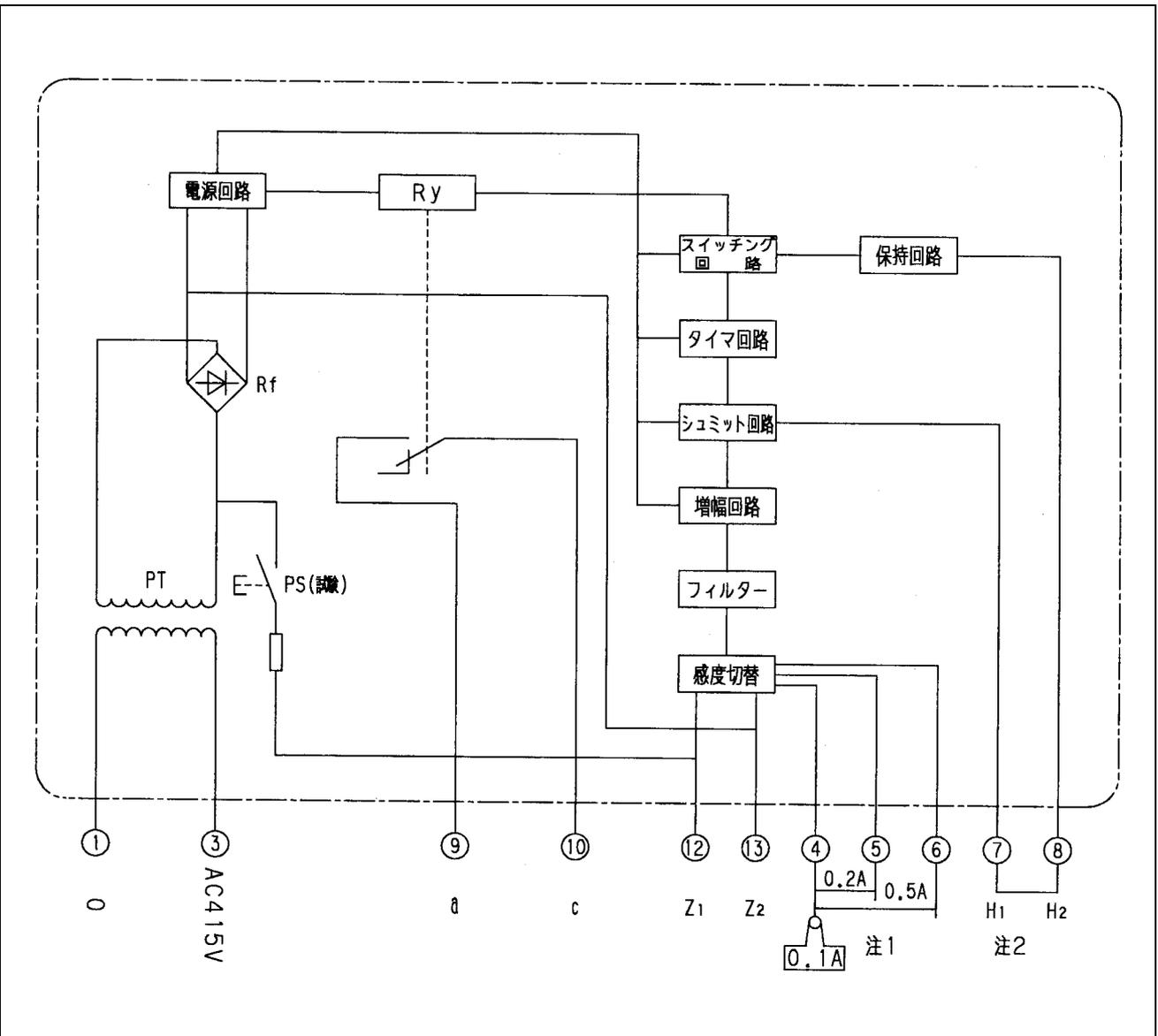


本器より負荷側に漏電しゃ断器が設けられ、その末端で漏電があっても、漏電しゃ断器の動作時間が0.1秒以下の高速形の場合には、時間協調によって漏電しゃ断器だけ動作し、本器は動作しません。

零相変流器

当社の標準品、M30、SM41～SM240、BM30～BM106を1個使用してください。
 大電流用低圧導帯付零相変流器も各種取揃えています。(別紙カタログ参照)
 本器と零相変流器および、そのほかの配線には600V絶縁電線をご使用ください。
 変流器2次回路の配線が大電流回路と並行する時は、電線を撚り合わせるか、金属電線管に入れるなどして電磁遮蔽してください。

内部ブロック図



外形図

